

企業主導型保育施設の皆様へ

～子供たちへ自然体験を！～



National Institution For Youth Education

独立行政法人 **国立青少年教育振興機構**

本件お問い合わせ先：民間企業等連携促進室 電話03-6407-7752
e-mail: honbu-minkan@niye.go.jp

国立青少年教育振興機構とは・・・

大自然で子供たちに思いきり遊んでもらうため、全国に28か所に宿泊施設を置き、キャンプや交流会などを当機構が自ら企画・実施する教育事業と、保育園がお泊り保育などで利用する研修支援事業を行い、子供たちが大きく成長するための支援を行っています。

自然との触れ合う機会が作れない、場がないという保育園もあるかと思います。我々がサポートしますので、是非ご相談ください。



国立オリンピック記念青少年総合センター



妙高青少年自然の家



沖縄青少年交流の家

全国各地で自然体験ができます！

国立オリンピック記念青少年総合センター

青少年交流の家 ……13施設

青少年自然の家 ……14施設

国立若狭湾青少年自然の家
海の道 若狭湾

国立吉備青少年自然の家
桃太郎のさと 吉備

国立三瓶青少年交流の家
グリーンシャワー 三瓶

国立江田島青少年交流の家
カッターの江田島

国立山口徳地青少年自然の家
冒険の森 山口徳地

国立夜須高原青少年自然の家
満天の星 夜須高原

国立諫早青少年自然の家
森と溪流の諫早

国立大隅青少年自然の家
錦江湾・黄金の夕日 大隅

国立阿蘇青少年交流の家
千年の大草原 阿蘇

国立日高青少年自然の家
-20℃パウダースノー 日高

国立岩手山青少年交流の家
山・雪・みちのく 岩手山

国立磐梯青少年交流の家
山と湖の磐梯

国立妙高青少年自然の家
雪の妙高

国立立山青少年自然の家
登山と星の立山

国立能登青少年交流の家
里海・里山の能登

国立室戸青少年自然の家
ウォーターワイスの室戸

国立大洲青少年交流の家
カヌーの大洲

国立曽爾青少年自然の家
ススキの大草原 曽爾

国立淡路青少年交流の家
白砂青松の淡路

国立沖縄青少年交流の家
常夏四季（とかしき）アイランド 沖縄

国立大雪青少年交流の家
クロスカントリースキーの大雪

国立花山青少年自然の家
沢活動の花山

国立那須甲子青少年自然の家
川と森の楽校 那須甲子

国立赤城青少年交流の家
環境の森 赤城

※法人本部
国立オリンピック記念青少年総合センター

国立信州高遠青少年自然の家
白樺の信州高遠

国立中央青少年交流の家
富士のさと中央

国立乗鞍青少年交流の家
標高1510mの乗鞍

（注）キャッチフレーズ
平成21年9月より

お泊り保育などで利用する場合は宿泊料金は無料！

■ 宿泊料金

各施設とも学校利用・青少年利用 無料

（企業等一般団体は別途施設使用料1人1泊800円）

※オリンピックセンターは、1泊1,800円

■ 宿泊に係る料金

シーツ洗濯費用1組200円 ※オリンピックセンターは、宿泊料金に含む。

■ 食事代

未就学児3食1,300円程度 小学生1,600円程度 中学生以上1,640円程度

（バイキング方式）

※オリンピックセンターは、ホームページを参照のうえ、各食堂にお問い合わせください。
（例：ふじ 朝食470円 昼食610円 夕食680円 一部に前売り割引あり。）

<https://nyc.niye.go.jp/wp/d2-6-html/>

■ プログラム指導を依頼する場合の指導料

一部のプログラムでは、指導料がかかるものがあります。

講師による指導を希望する場合は、各施設にご相談下さい。

国立青少年教育振興機構ではこのような取組も行っています！

幼児を対象とした取組事例

◆「遊び」で身に付く運動 プログラム普及事業(江田島)



【趣旨】

市内の保育園を会場に、「遊び」を通して幼児期に必要な多様な動きを取り入れた事業を行う。

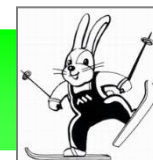
また、大学教員等と連携し、家庭でも実践できる「36の基本的な動き」を取り入れた「遊び」の考案及び教材開発を行う。

【平成28年度実施概要】

1. 期 間 平成29年3月に計3回(日帰り)
2. 会 場 広島県江田島市内の保育園 3園
3. 参加者 広島県江田島市内の保育園に通う園児 90名
4. 主な活動内容
 - 子供たちが忍者に扮する。
 - 忍者のように動きながらグループで課題をクリアしていく。
 - 楽しく遊びながら、36の基本的な動きを体で覚える。
 - 子供たちの頑張りを褒める設定(シール授与)とする。



◆キッズアドベンチャー (妙高)



【趣旨】

自然の家を会場に、幼稚園・保育園等の子供たちに対して自然環境下で「森の活動」、「雪の活動(深雪体験)」等全身を使った体験活動プログラムを提供する。

【平成28年度実施概要】

1. 期 間 平成28年11月～平成29年2月(日帰り)
2. 会 場 国立妙高青少年自然の家(新潟県妙高市)
3. 参加者 182名(新潟県内の幼稚園・保育園・こども園4園)
4. 主な活動
 - 森の活動、雪の活動(深雪体験) 等



保育園等の指導者を対象とした事業

◆ 幼児期における自然体験 活動者研修会(立山)



【趣旨】

幼稚園や保育園等の教員を目指す学生が、幼児期からの自然体験の意義等を自らの体験を通して理解する。

また、同時期に開催する幼児キャンプの参加者と直接関わらう機会を設ける。

【平成28年度実施概要】

1. 期 間 平成28年10月14日(金)～16日(日)(2泊3日)
2. 連携機関 富山大学・富山福祉短期大学
3. 参加者 幼稚園や保育園等の教員を目指す学生 67名
4. 主な活動

講義、幼児の活動を観察、ビデオ視聴、プログラムづくり、プログラム実践及び検証 等



5. 感想

● 短期間の中で、プログラムの企画から準備、実践まで全てを行い、プログラムを完結させるととても良い経験となった。

● これまで安全管理について意識することがなかったが、今回の研修を通して自然の中にある危険因子を意識しながらプログラムを考えることができた。

◆ 幼稚園・保育園支援事業 (信州高遠)



【趣旨】

自然の家を会場に、幼稚園・保育園等の子供たちに対して自然環境下で動物になりきりながら全身を使った体験活動プログラムを提供する。

また、事前に該当園の教職員が体験する機会を設け、プログラム実施の意義を理解してもらい、当日の運営が円滑に進むように共通理解を図る。

【平成28年度実施概要】

1. 期 間 平成28年8月28日(日)(日帰り)
2. 会 場 国立信州高遠青少年自然の家(長野県伊那市)
3. 連携機関 長野県教育委員会・松本短期大学
4. 参加者 幼稚園・保育園の指導者の方々 14名
5. 主な活動
クマやウサギ、サルを模倣しながら全身を使って活動するプログラムの実際、当日の運営シュミレーション



「幼児を対象とした取組事例」「保育園等の指導者を対象とした事業」とも、紹介した事例は一例ですが、昨年度(平成28年度)、全国27施設において、教育事業、研修支援合わせて年間約53,000人(うち宿泊約33,000人)の方々にご利用いただきました。

都内のオリンピックセンターにも気軽にお越しください。

遠足での利用

敷地の中にも自然がいっぱいです。

野外炊事場もあります。
(要事前予約)



(緑に囲まれた宿泊棟付近)

キッズコーナーの利用

利用時間	平日:12時～16時
土日祝日	11時～17時
場所	センター棟2階(青少年教育情報センター内)



(キッズコーナー)

えほんおはなし会の開催

資格を持った専門家が読み聞かせなどをしています。

えほんおはなし会



絵本の資格を持った先生などが、毎月おすすめの物語を読みます。

毎月第4土曜日

①13:30～14:00 ②15:00～15:30

誰でも参加可能！

オリンピックセンター「キッズコーナー」

(国立オリンピック記念青少年総合センター「センター棟2階情報センター」内)

来れて参加もOK！

授乳室、オムツコーナー完備！



＜お問い合わせ先＞

国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

「えほんおはなし会」担当

TEL: 03-6407-7685

ウェブサイト <http://www.niye.go.jp/>

National Institution for Youth Education
国立青少年教育振興機構



えほんのじかんがはじまるよ！